



# 校長室だより

第 5 号

令和3年5月6日(木)

大崎市立沼部小学校

校長 吉田 浩之

## 思いやりのあるとは

ゴールデンウィークはどのように過ごされたでしょうか。出掛けることもままならず、子供たちから「つまらなかった」という声も聞こえてきました。連休初日には大きな地震があり、驚きましたが、学校に異状はありませんでした。また、地震の被害等も含めて、事故等の報告がなく、子供たちは元気に登校しました。連休中、子供たちをしっかりと守っていただいた保護者の皆さまの御協力に感謝申し上げます。

さて、本校では「思いやりのある子どもにします」と、うたっています。辞書で調べてみると、『思いやり』とは、「他人のために気遣ったり、同情したりする気持ち」です。ある心理学の先生は、『思いやる』を「相手の状況を自分の身に置き換えて考えることではなく、相手の立場に立って考えること」とおっしゃっていました。「他人のために」、「相手の立場に立って」ということが大切だと思います。

何をしてほしいと、この人は願っているのだろう。どんなことにあの人は喜ぶだろう、そんな想いを行動にして、人を笑顔にするのは、楽しいことだと思います。人は他人を笑顔にする力を備えていると、私は信じています。



前向きな言葉で励ましてもらった時、その人は明るい気持ちになり、素直に「ありがとう」の言葉が出てくる、次、頑張ってみようと思う。そんなことを経験された保護者の皆様も多いことでしょう。励ましてあげた人も、心が温かくなりますね。

ところで、自己肯定感という言葉は御存じでしょうか。教育用語辞典によると、自己肯定感とは、「自己自身の存在に対する認識として、自己の身体的な特徴や能力や性格などについて肯定的に考えたり、感じたりする感情を指す。」とあります。子供は、自分が人から認められたり、誰かの役に立てたりする喜びの経験を積み重ねていくことで自己肯定感を高める。そうすると他者を意識する余裕が生まれ、相手の気持ちを考えて行動できる、という研究成果も発表されています。自分に自信をもつこと、そのためには認められること。とにかく子供たちを認めることを、先生方には意識してもらっています。

### おもいやり算 人を笑顔にする算数

+(たす)	<b>たす</b> けあうと	大きな力に
-(ひく)	<b>ひき</b> うけと	喜びが生まれる
×(かける)	声 <b>を</b> か <b>け</b> ると	ひとつになれる
÷(わる)	いた <b>わ</b> ると	笑顔お返ってくる

「おもいやり算 人を笑顔にする算数」というのを見付けましたので、紹介します。なんかすてきななあと思いました。

数年前に、教室で次のような姿を見たことがあります。担任の先生がみんなにプリントを配っていました。後ろの友達に順にプリントを手渡していくのですが、ただ手

渡すのではなく、「どうぞ」と一声掛けしているお友達がいたのです。黙って渡されるのと、一言「どうぞ」と言ってくれるのでは、どちらが心地よい気持ちになりますか？